

[12] 指まわりの痛みに糸状灸

(1) 手首足首から先の痛みに、糸状灸

応急処置の原則「遠くに強く引く」

患部が指などのときは、患部の邪気を手足の甲に引けない

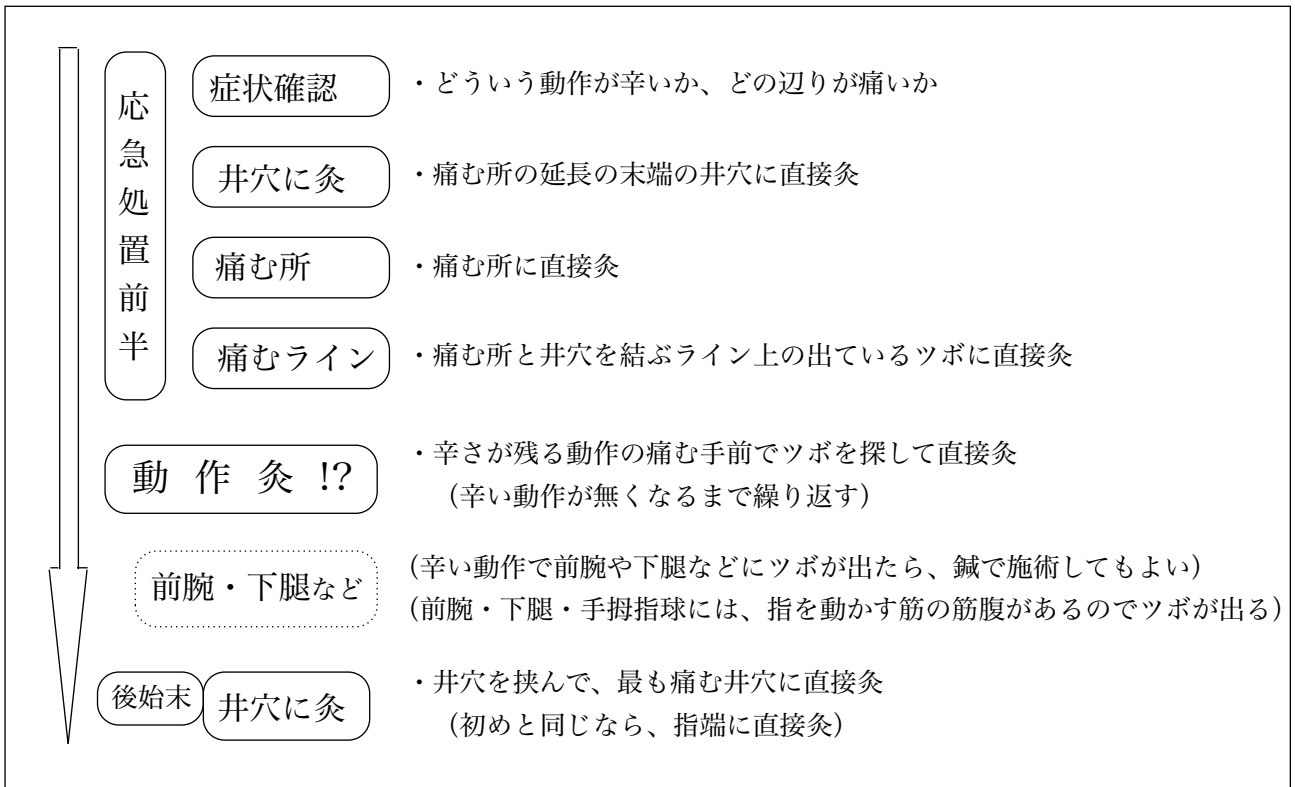
指まわりや手甲、足裏は、鍼すると痛がられる

→そういうときでも、糸状灸なら施術可能

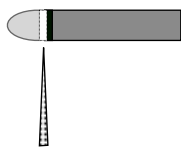
ポイント

1. 鍼柄の太さの道具で探す：ツボが細かいから
2. 灸点墨で印を付ける：モグサが立ちやすく、熱くなりにくい
3. 硬く細く捻った糸状灸：細さは、底面が直径0.5mm以内

(2) 手順・・・鍼の応急処置と基本的には同じ



5mm



(注) 線香の近づけ方：細かなコツ

モグサ点火のために線香を近づけるときには、火の付いて赤くなっている部分の根本、つまり黒くなっている所に近い赤い所をモグサに近づけると、モグサと線香が付きモグサが持ち上がってしまうことは少なくなる。

線香の先の部分を近づけると、付きやすくモグサが持ち上がりやすい。先端部は灰を落とした直後でも灰がすぐできてしまうため。